

(5) 予測結果

ア 工事の施行中

(7) 建設機械の稼働に伴う騒音・振動

a 建設機械の稼働に伴う騒音

(a) 敷地境界

建設機械の稼働に伴う各工種の予測結果は、表 8.3-34、図 8.3-19(1)～(2)に示すとおりである。騒音レベル61.3～75.8dBであり、工種ごとの最大騒音レベルは、解体・土工事（39か月目）が敷地境界南側で75.8dB、く体・プラント・外構工事（65か月目）が敷地境界東側で68.5dBである。

表 8.3-34 建設機械の稼働に伴う騒音の予測結果（敷地境界）

主な工種			経過月数	騒音レベル(dB)			
				予測結果			
				① 北側	② 東側	③ 南側	④ 西側
(1)	解体・土工事	煙突解体、掘削	39 か月	64.1	70.2	75.8	68.7
(2)	く体・プラント・外構工事	建方、据付、盛土	65 か月	65.9	68.5	61.3	61.5

注) 網掛部は、各工種における最大騒音レベルを示す。

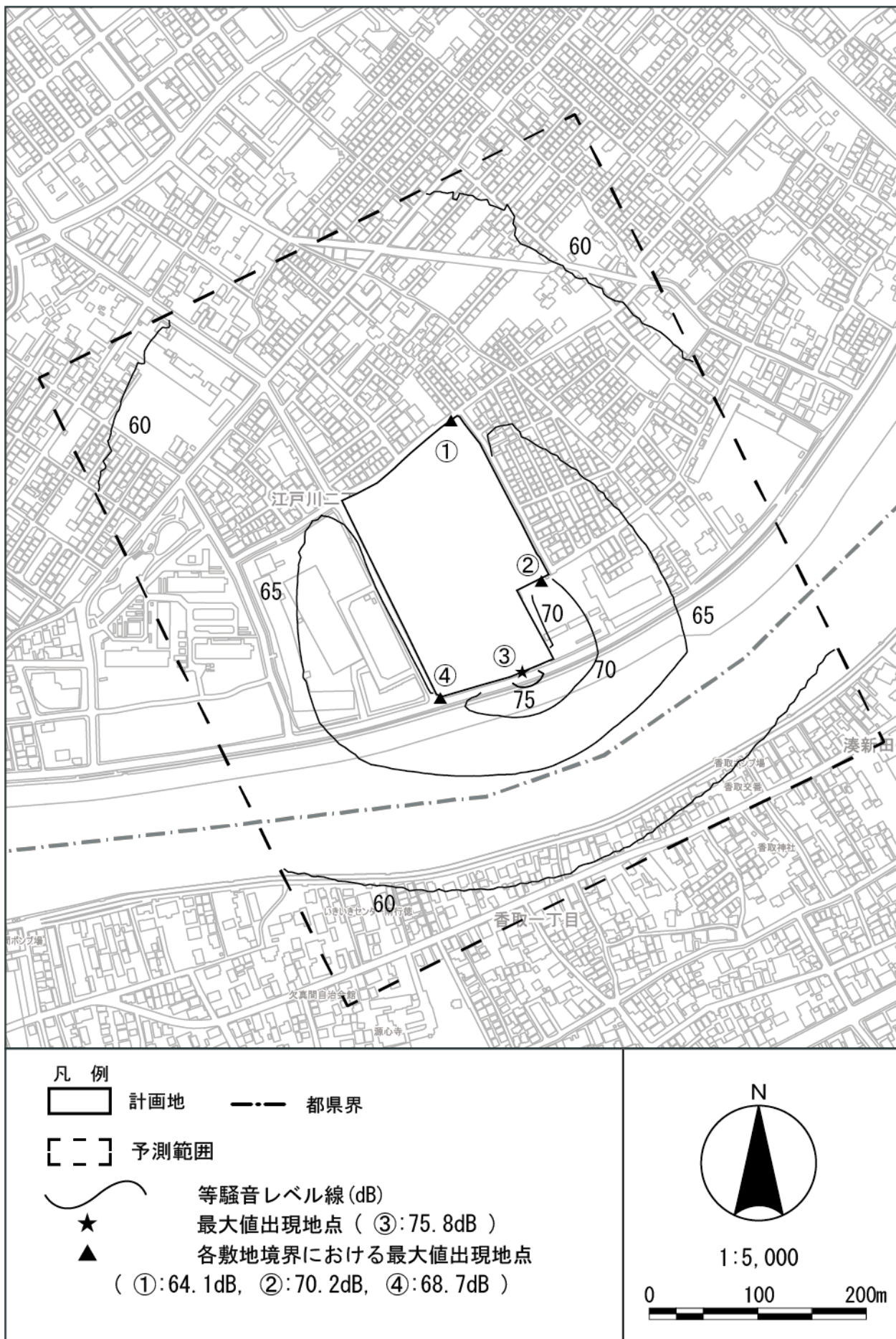


図 8.3-19(1) 建設機械の稼働に伴う騒音の予測結果
(解体・土工事 39 か月目)

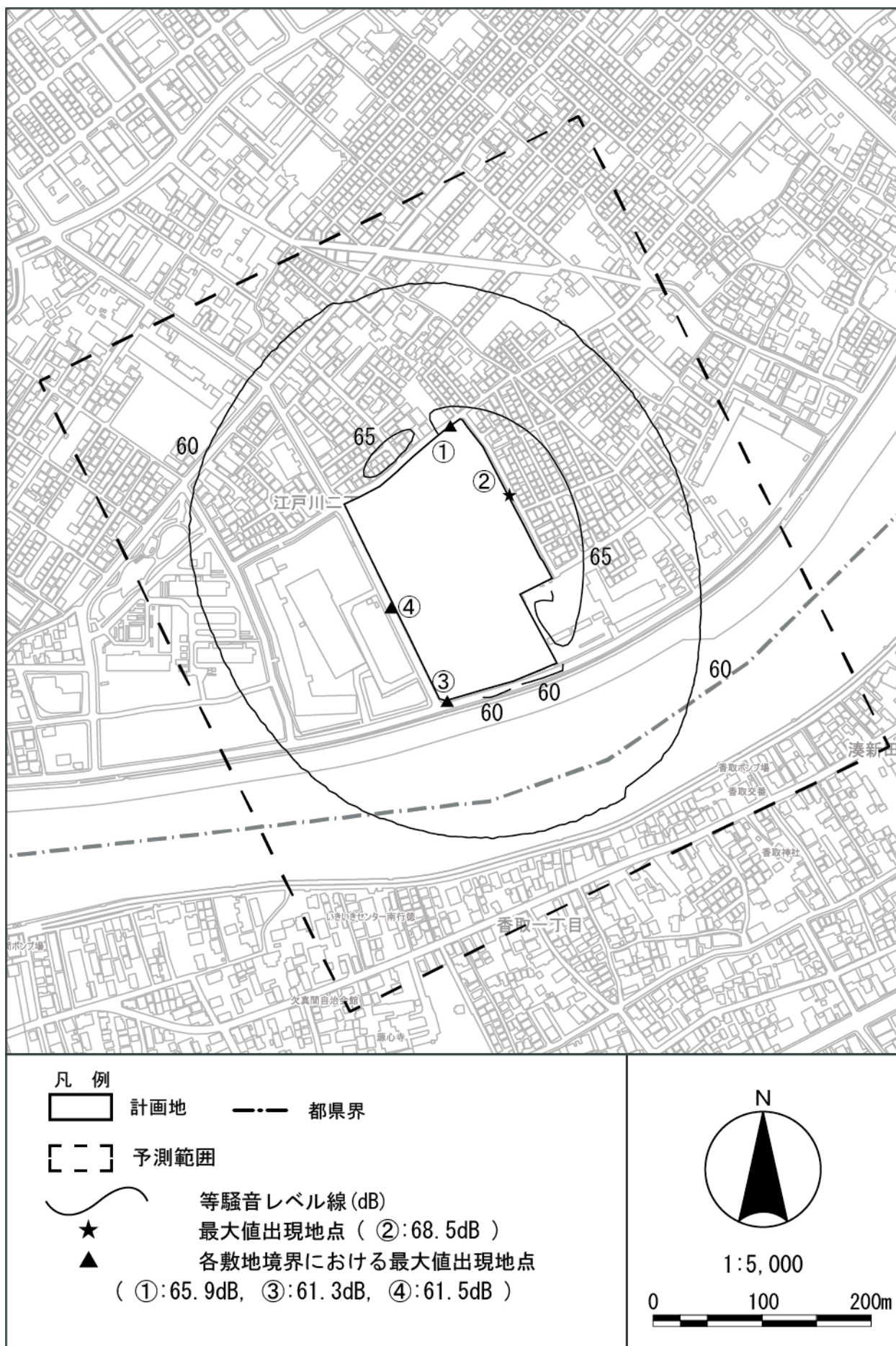


図 8.3-19(2) 建設機械の稼働に伴う騒音の予測結果
(く体・プラント・外構工事 65 か月目)

b 建設機械の稼働に伴う振動

建設機械の稼働に伴う各工種の予測結果は、表 8.3-35、図 8.3-20(1)及び(2)に示すとおりである。

建設機械の稼働に伴う振動レベルは、59.2～68.2dBであり、工種ごとの最大振動レベルは、解体・土工事（30か月目）が敷地境界東側で68.2dB、く体・プラント・外構工事（65か月目）が敷地境界北側で68.2dBである。

表 8.3-35 建設機械の稼働に伴う振動の予測結果（敷地境界）

主な工種			経過月数	振動レベル(dB)			
				予測結果			
				① 北側	② 東側	③ 南側	④ 西側
(1)	解体・土工事	煙突解体、地下部解体、掘削	30 か月	59.2	68.2	66.2	65.7
(2)	く体・プラント・ 外構工事	建方、据付、盛土	65 か月	68.2	68.1	63.1	61.0

注) 網掛部は、各工種における最大振動レベルを示す。

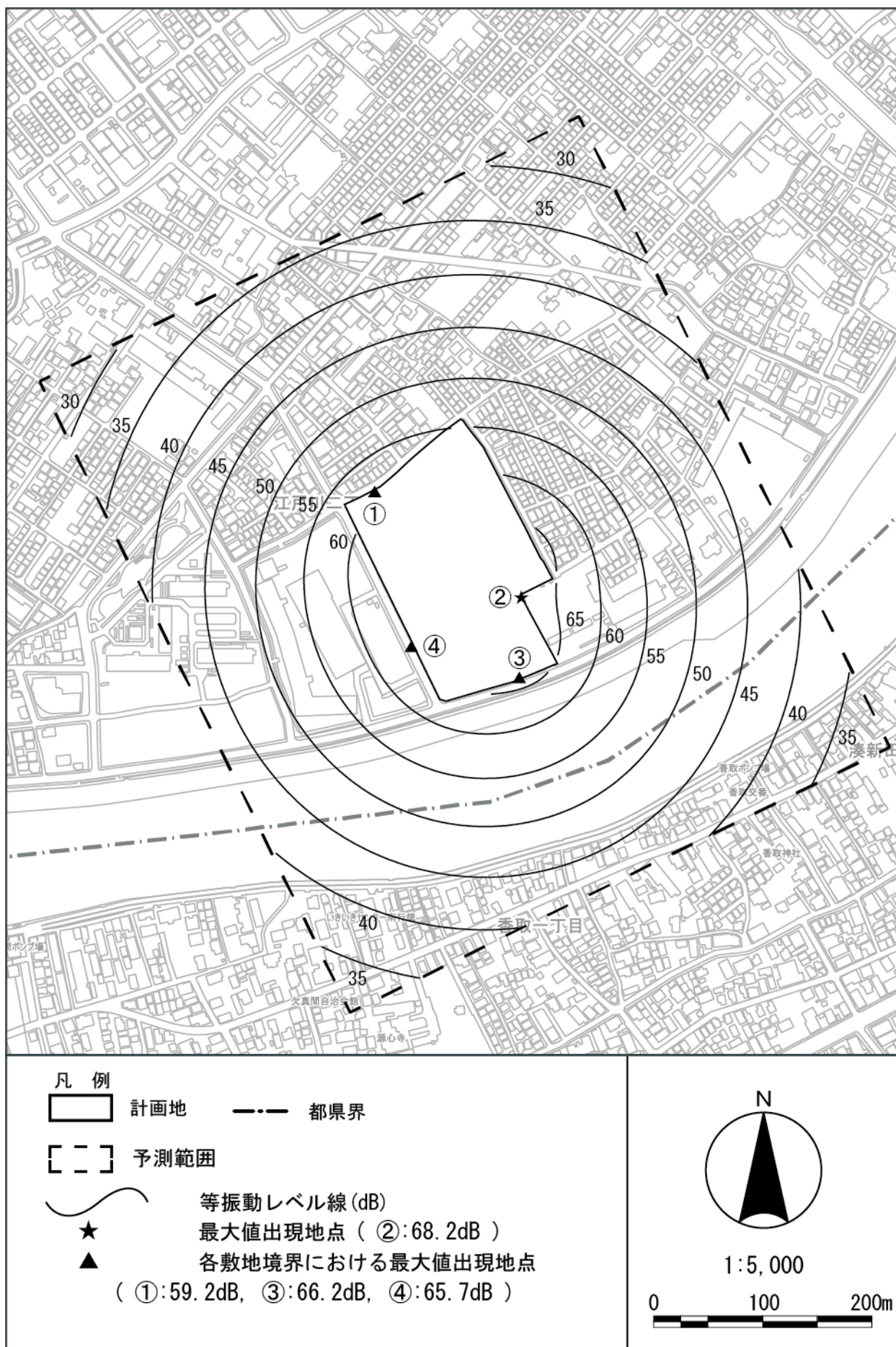


図 8.3-20(1) 建設機械の稼働に伴う振動の予測結果
(解体・土工事 30 か月目)

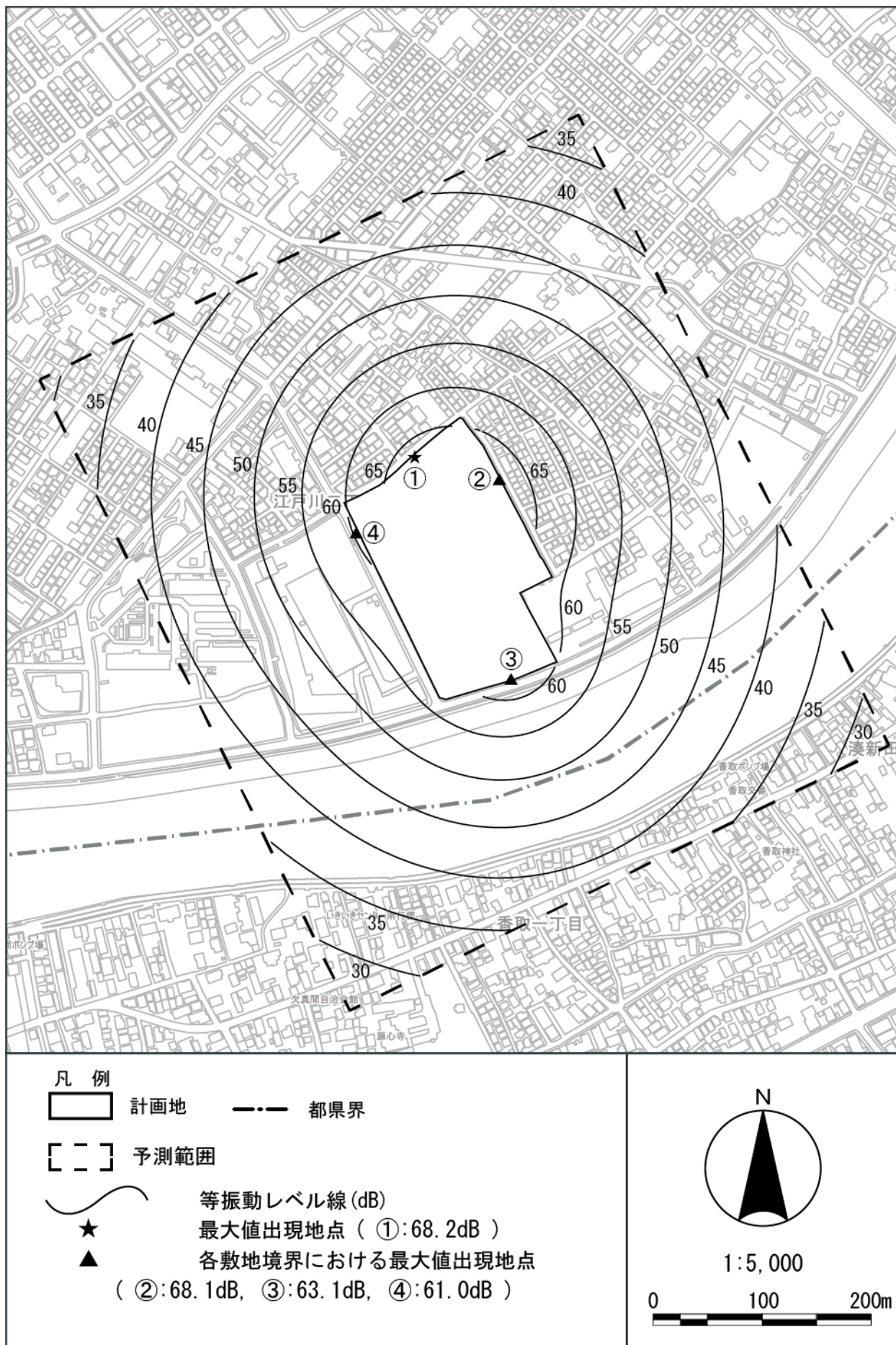


図 8.3-20(2) 建設機械の稼働に伴う振動の予測結果
(く体・プラント・外構工事 65 か月目)

(4) 工事用車両の走行に伴う騒音・振動

a 工事用車両の走行に伴う騒音

工事用車両の走行に伴う騒音の予測結果は、表 8.3-36に示すとおりである。

工事用車両の走行に伴う現況調査結果に対する騒音レベルの増加分は-0.8~-0.1dBであり、現況調査結果と合成した予測結果は58.4~66.8dBである。なお、現況調査結果には現況ごみ収集車両等の影響が含まれており、この影響を除いてから工事用車両の影響を加えて予測している。

また、道路端からの距離減衰は、資料編 (p. 195~p. 197参照) に示すとおりである。

表 8.3-36 工事用車両の走行に伴う騒音の予測結果 (道路端)

予測地点		等価騒音レベル L_{Aeq} (dB)				
		現況調査結果 (一般車両 + 現況ごみ 収集車両等) (a)	現況ごみ収集 車両等による 騒音レベルの 増加分 (b)	工事用車両によ る騒音レベルの 増加分 (c)	予測結果 (一般車両 + 工事用車両) (d) =(a)-(b)+(c)	現況調査結果に 対する騒音レベ ルの増加分 (e)=(d)-(a)
1	江戸川小学校付近	67.3	0.7	0.2	66.8	-0.5 [※]
2	そよかぜひろば西	66.1	0.8	0.2	65.5	-0.6 [※]
3	下鎌田東小学校前	60.8	1.0	0.2	60.0	-0.8 [※]
5	柴又街道	58.5	0.4	0.3	58.4	-0.1 [※]

注1) 予測の時間帯は、「環境基本法」に基づく騒音の環境基準による昼間の時間区分(6時~22時)である。

注2) 予測点高さ: 地上1.2m

注3) 「ごみ収集車両等」は、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とした。

注4) 「工事用車両による騒音レベルの増加分(c)」は、本事業における工事用車両の計画台数を用いた。

注5) ※は予測結果が現況調査結果を下回ることを示す。これは、現況調査結果には現況ごみ収集車両等の影響が含まれており、この影響を除いてから工事用車両の影響を加えたためである。

b 工事用車両の走行に伴う振動

工事用車両の走行に伴う振動の予測結果は、表 8.3-37に示すとおりである。

予測結果が最大となる時間帯における現況調査結果に対する振動レベルの増加分は0.0～1.5dBであり、現況調査結果と合成した予測結果は33.1～57.6dBである。なお、現況調査結果には現況ごみ収集車両等の影響が含まれており、この車両を除いてから工事用車両を加えて予測している。

また、時間帯別の予測結果は資料編（p.198及びp.199参照）に、道路端からの距離減衰は資料編（p.201及びp.202参照）に示すとおりである。

表 8.3-37 工事用車両の走行に伴う振動の予測結果（道路端）

予測地点	時間区分	振動レベルが最大となる時間帯	振動レベル L_{10} (dB)		
			現況調査結果 (a)	現況調査結果に対する振動レベルの増加分 (b)	予測結果 (c)=(a)+(b)
1 江戸川小学校付近	昼間	16 時台	57.5	0.1	57.6
	夜間	7 時台	49.2	0.6	49.8
2 そよかぜひろば西	昼間	16 時台	48.8	0.2	49.0
	夜間	7 時台	38.0	0.6	38.6
3 下鎌田東小学校前	昼間	17 時台	36.6	0.0	36.6
	夜間	7 時台	37.9	0.9	38.8
5 柴又街道	昼間	16 時台	39.5	0.1	39.6
	夜間	7 時台	31.6	1.5	33.1

注1) 時間区分は、「東京都環境確保条例」に定める日常生活に適用する規制基準（昼間：8時～19時、夜間：19時～8時）によるもの。

注2) 現況調査結果には、現況ごみ収集車両等の影響を含む。